



## 但馬水産技術センターだより



### 漁況情報 (G1511号)

平成27年8月25日

兵庫県立農林水産技術総合センター  
但馬水産技術センター 発行

### ハタハタ・アカガレイ・エチゼンクラゲ等に関する情報について (平成27年度底びき漁期前調査結果)

平成27年8月5-6日および8月17-19日に但馬沖～隠岐北方の水深180～350m(図1、表1)で、漁業調査船「たじま」により、トロール網試験操業を実施しました。結果の概要は以下の通りです。

#### ① ハタハタに関する情報

- ・隠岐東方～但馬沖にかけて広く入網がありました。(表1、図2)
- ・1網当たり入網重量は但馬沖では過去最高でしたが、他の海域が低調であったため、全域平均では18.8kg/網と2005年以降の調査では最も低い水準となりました。(図3)
- ・漁獲物の体長は15cm前後にモードがあり、2歳魚(16cm前後)が主体でした。小型の1歳魚(ジンタン)は少なめでした。(図4)

以上のことからハタハタの秋漁(9～10月)について、**漁場は隠岐東方～但馬沖を中心に形成されるでしょう。漁獲物は2歳魚を中心に構成され、1歳魚(ジンタン)は比較的少ないでしょう。漁獲量は前年並みか前年をやや下回る可能性が高いでしょう。**(図5)

#### ② アカガレイに関する情報

- ・アカガレイの入網は但馬沖でまとまって認められました。(表1、図6)大型のメスは水深300m中心に、中小型個体は180～240mで入網しました。(図8)
- ・但馬沖～大山沖を平均した入網重量は前年を大きく下回りました。(図7)

以上のことからアカガレイの秋漁について、**漁場は但馬沖を中心に形成されるでしょう。漁獲量は前年を下回る可能性が高いでしょう。**

#### ③ エチゼンクラゲに関する情報

- ・調査を実施した17定点で入網は皆無でした。
- ・他機関による情報でも日本海では出現が確認されていません。
- ・以上のことから、**現時点でのクラゲ対策は不要**と考えます。
- ・大型クラゲ出現情報(JAFIC) (<http://www.jafic.or.jp/kurage/index.html>) や出現予測(水研センター) (<http://www.fra.affrc.go.jp/kurage/frayosoku21.html>) が公開されています。引き続き最新の情報収集に努めて下さい。

#### ④ その他の情報

- ・ハタハタ、アカガレイなどと同時に、ズワイガニが混獲される海域があります。9～10月は水温が高く、これらは再放流してもほとんどが死んでしまいます。昨年に引き続き、今期も導入した**混獲回避漁具を積極的に活用してズワイガニを1匹でも多く11月まで残しましょう。**

以上、操業の参考にして頂ければ幸いです。

お問い合わせ先：兵庫県但馬水産技術センター (担当：大谷)

TEL：0796-36-0395 FAX：0796-36-3684

email：nourinc\_tajima@pref.hyogo.lg.jp

ホームページ：http://www.hyogo-suigi.jp/tajima/index.htm

# 平成27年度底びき漁期前調査結果 資料

## 1)調査の目的

底びき解禁前のハタハタ、アカガレイ、エチゼンクラゲ等の分布、体長組成等に関し、情報の収集と提供を行う。

## 2)調査日時

平成27年8月5～6日(但馬沖)

平成27年8月17～19日(大山沖～隠岐北方)

## 3)調査海域

但馬沖から隠岐北方にかけての水深180～350m海域(図1参照)

## 4)使用船舶

兵庫県 漁業調査船「たじま」(199トン)

## 5)調査内容

### ①トロール試験操業

図1に示した計17点において、底びき試験操業を実施。

使用漁具:着底トロール網、袋網14節、袖先間隔約28m、間口高さ約2.1m、曳網方法:3knot、30分(約1.5マイル)曳き。

### ②海洋観測

定点におけるSTDによる海底までの水温、塩分観測と、網に取り付けたセンサーによる海底水温の計測を実施。

### ③魚探反応の収録

トロール曳網時の魚探反応を収録。

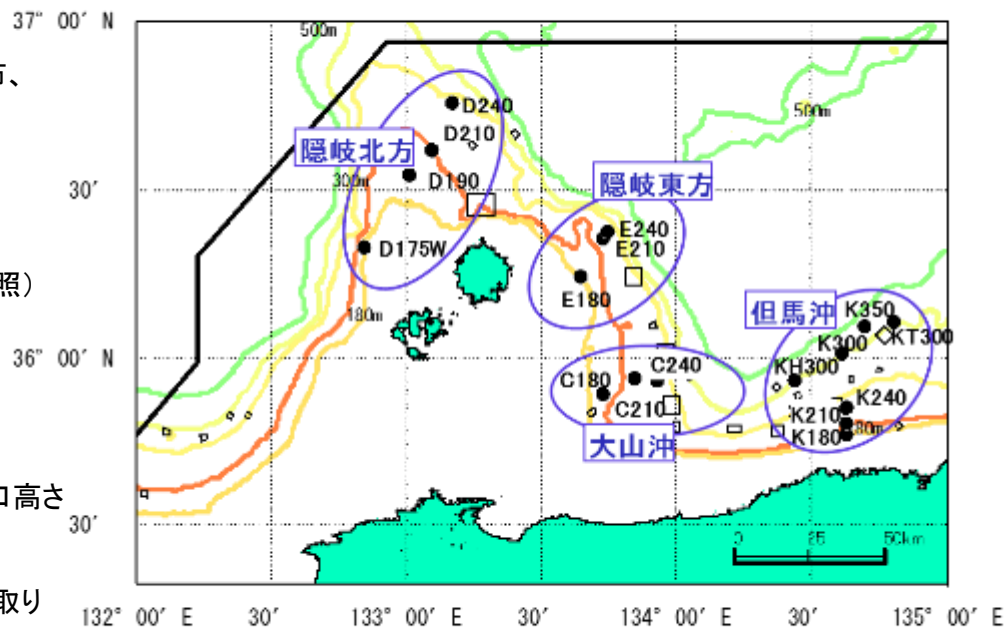


図1 調査海域図

表1 定点別魚種別入網状況

月日	曳網開始時刻	エリア	操業点番号	平均 曳網 水深	曳網開始位置		海区 番号	表面 水温 (°C)	海底平 均水温 (°C)	魚種別入網重量(kg)								
					北緯					東経		ハタハタ	アカレイ (マガレイ)	ソウハチ (イ)	ヒレクロ (ヤマ)	ハイ類	ヒ類	ノケンゲ (トキ)
					度	分				度	分							
8/6	8:39	但馬 沖	K350(340)	340.4	36	6.0	134	41.5	8086	27.1	1.0	5.5	3.9	0.0	0.0	0.1	1.0	8.4
8/5	16:02		KH300	308.5	35	56.3	134	25.8	8191	27.7	1.1	0.2	43.9	0.0	0.0	4.6	4.2	23.0
8/6	10:51		K300	308.2	36	1.2	134	36.2	8089	27.4	1.3	1.4	74.6	0.0	0.0	2.5	1.5	25.8
"	6:39		KT300	309.3	36	6.6	134	47.6	8086	26.5	1.1	26.1	56.0	0.0	0.0	3.0	1.4	26.1
8/5	13:33		K240(230)	230.1	35	51.6	134	37.4	8097	27.3	2.2	54.4	7.4	0.0	5.1	58.5	0.8	11.4
"	11:50		K210	205.5	35	48.7	134	37.2	8098	28.0	2.6	36.0	23.9	0.9	1.0	21.4	2.4	0.0
"	10:11		K180	183.4	35	46.7	134	37.4	8098	27.7	3.4	1.5	4.8	0.0	0.2	0.1	0.0	0.0
8/17	12:53	大山 沖	C240(230)	231.4	35	56.4	133	55.7	8391	26.9	1.51	20.3	9.8	8.1	0.6	15.0	0.2	1.8
"	14:42		C210	207.1	35	56.6	133	50.4	8391	27.1	2.22	17.8	7.9	16.1	0.7	20.8	0.9	0.0
"	16:28		C180(190)	191.3	35	53.8	133	43.7	8394	27.1	2.36	29.3	1.3	1.3	0.0	11.4	0.2	0.0
8/18	13:51	隠岐 北方	D240	234.9	36	45.4	133	9.9	8378	26.6	1.3	4.2	7.0	0.0	4.3	6.7	1.3	3.5
"	11:50		D210(200)	202.9	36	37.3	133	5.5	8379	26.7	1.4	5.3	2.6	0.0	2.0	9.2	0.1	0.0
"	9:44		D190	191.1	36	32.6	133	0.4	8379	26.8	2.1	6.6	5.8	0.0	12.1	15.5	0.1	0.0
"	7:21		D175W(180)	180.6	36	19.8	132	50.8	8482	27.1	2.6	25.3	0.0	0.1	0.4	17.9	0.0	0.0
8/19	11:05	隠岐 東方	E240(230)	227.1	36	22.6	133	44.6	8284	26.1	2.5	39.1	0.2	0.0	1.7	14.7	0.9	2.6
"	9:03		E210	213.3	36	21.3	133	43.5	8284	26.1	3.6	86.6	0.5	0.4	3.1	23.8	0.6	0.3
"	6:46		E180(190)	192.4	36	14.9	133	38.4	8288	26.1	2.8	5.8	0.0	0.0	0.0	2.7	0.0	0.0

※エチゼンクラゲはいずれも入網なし。

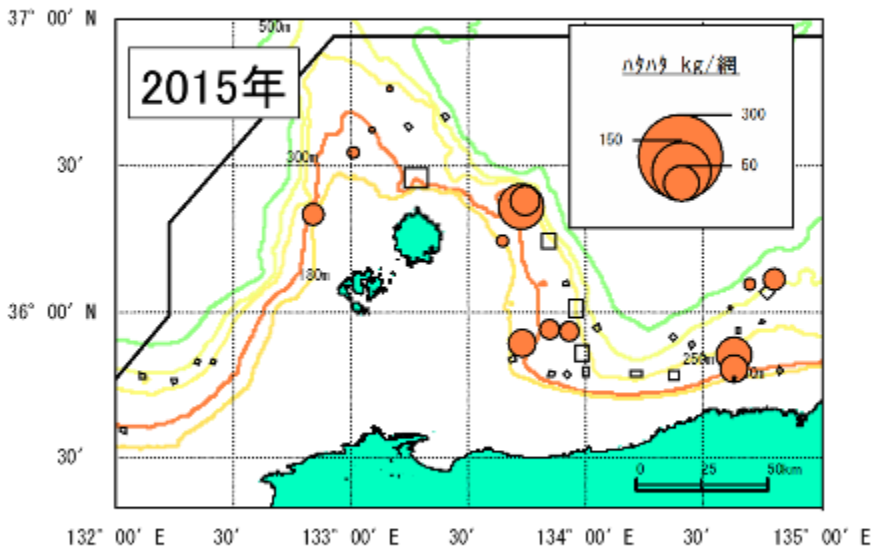


図2 ハタハタ入網重量の分布(kg/網)

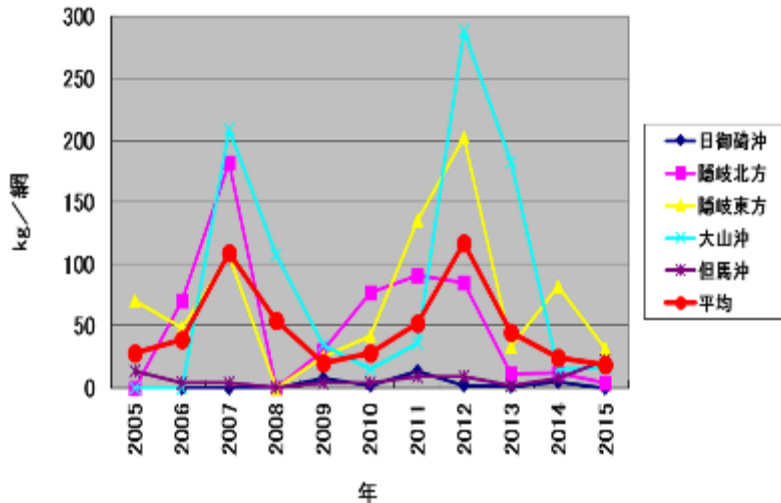


図3 エリア別 1 曳網当たりハタハタ入網重量 (曳網水深166-255m)

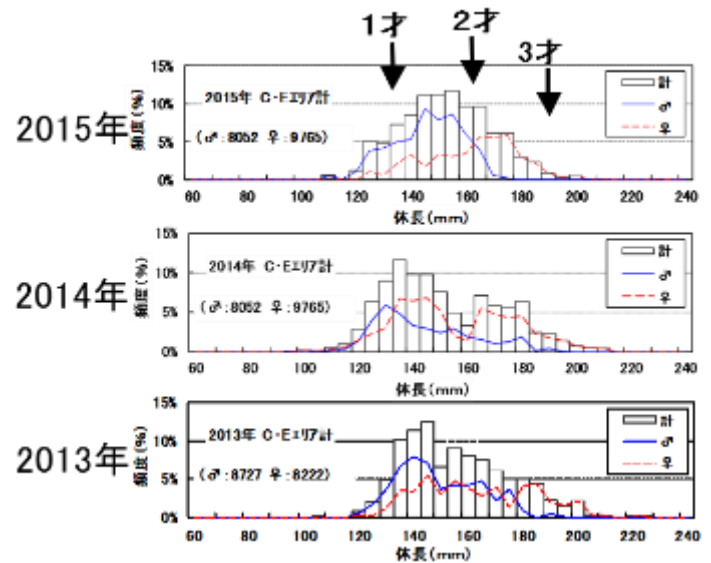


図4 近年のハタハタ体長組成 (隠岐東方～大山沖)

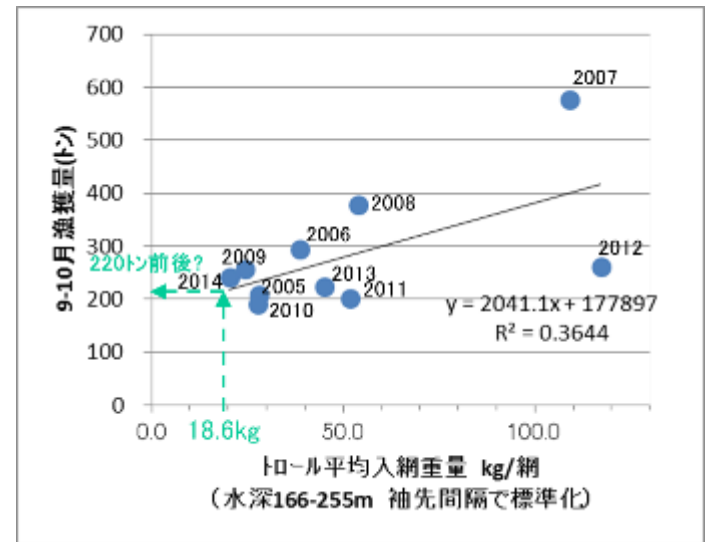


図5 調査平均入網重量と9-10月のハタハタ漁獲量との関係

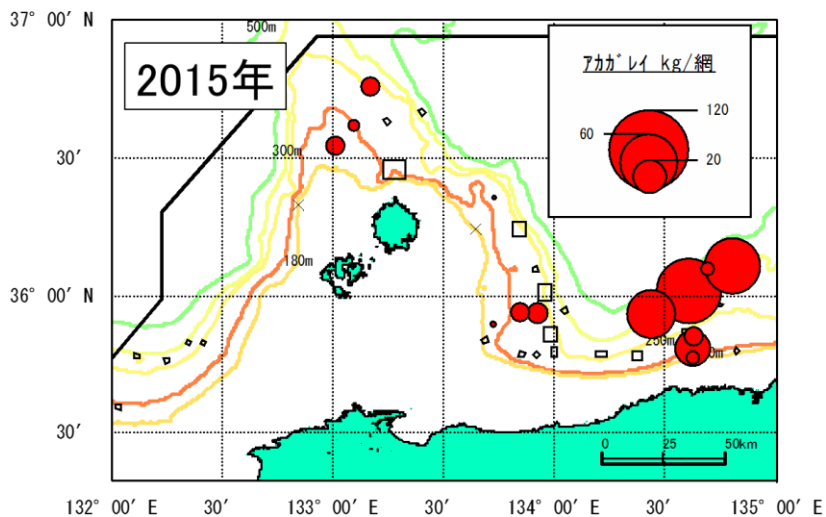


図6 アカガレイ入網重量の分布 (kg/網)

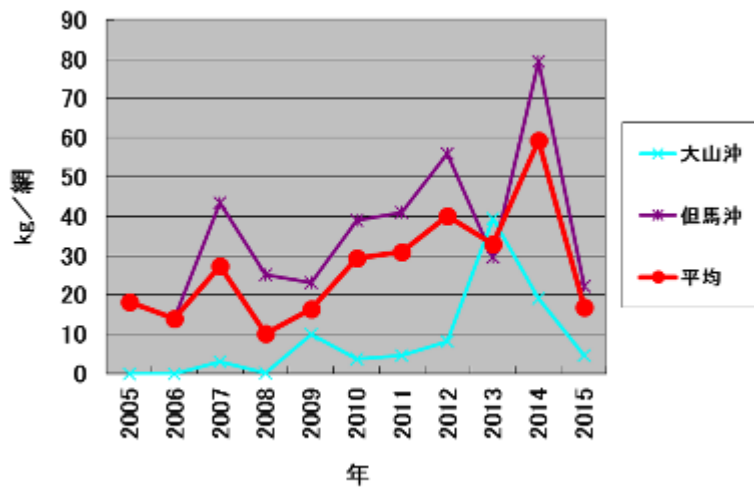


図7 エリア別 1 曳網当たりアカガレイ入網重量

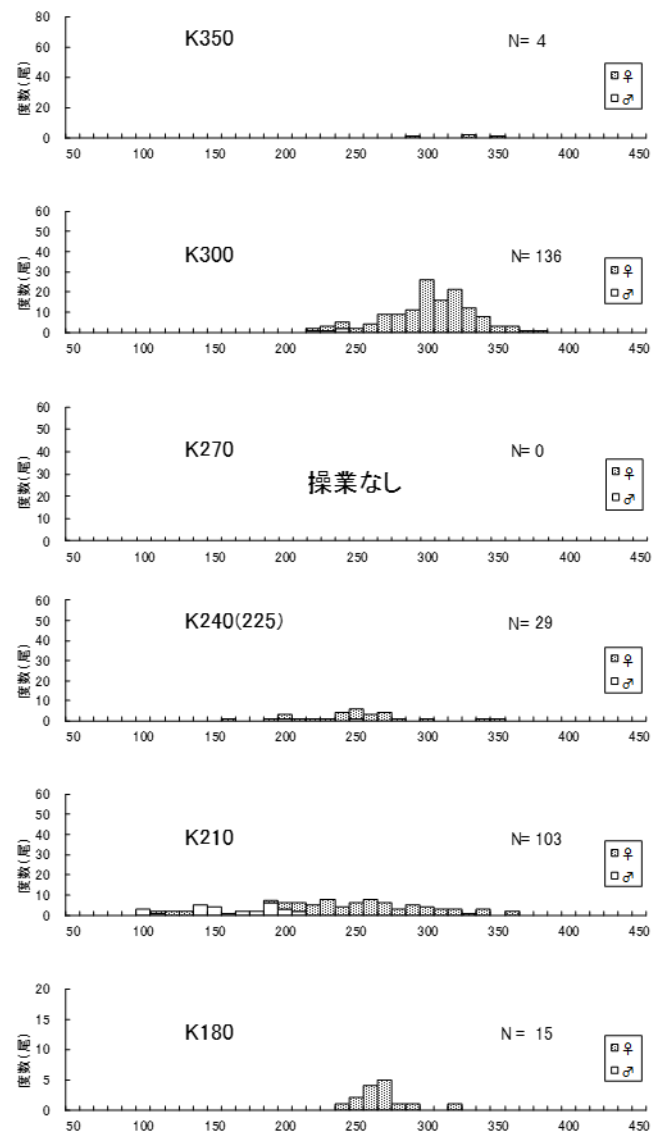


図8 定點別アカガレイ体長組成(香住沖)

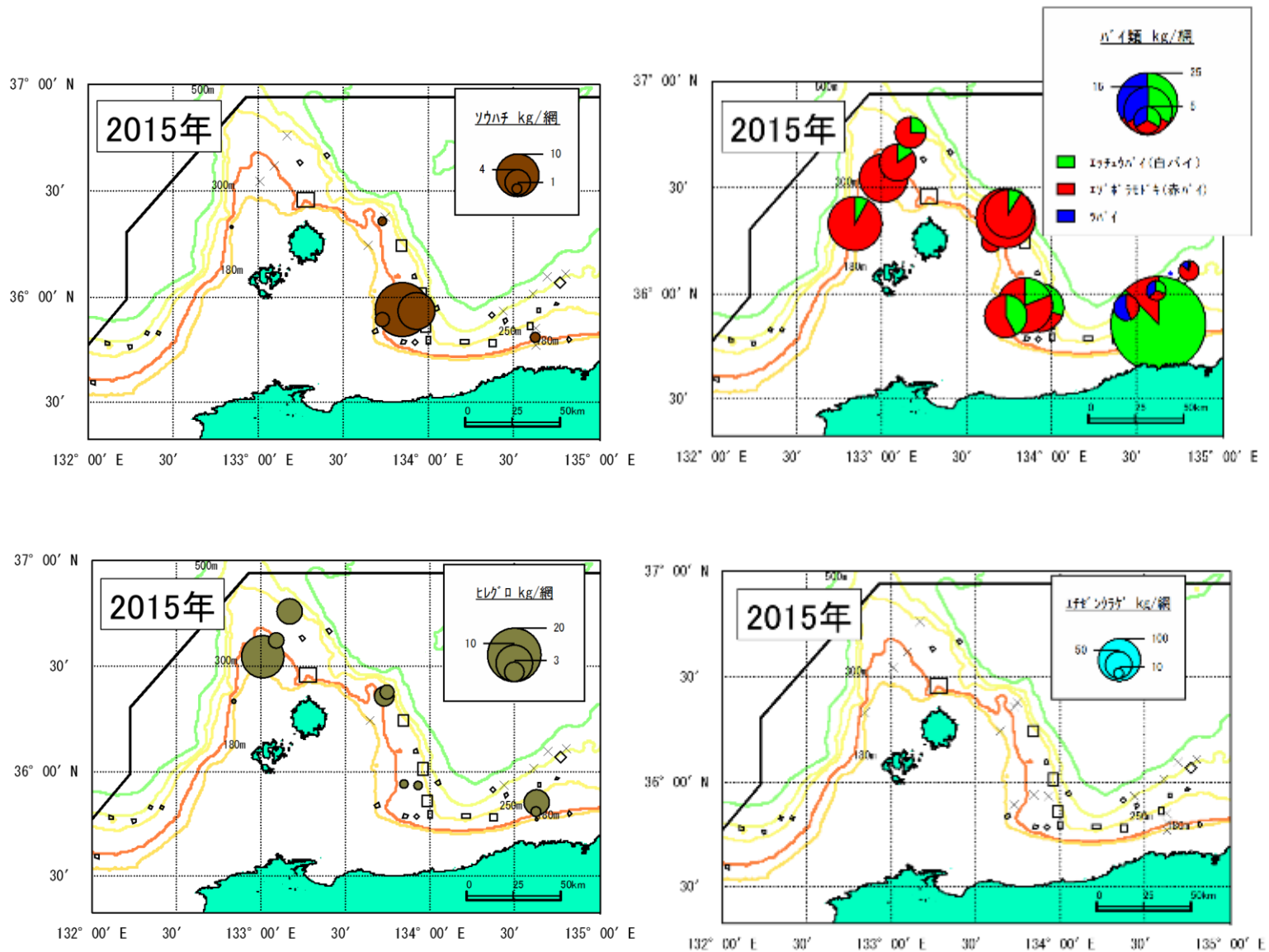


図9 その他主要魚種等の入網重量の分布(kg/網)